

北米探偵小説論



[北米探偵小説論 下载链接1](#)

著者:野崎六助

出版者:インスクリプト

出版时间:1998-10-28

装帧:单行本

isbn:9784309902845

探偵小説という形式にアメリカ文学のすべてを叩き込み、明滅する歴史にアメリカの

希望と悲劇を描ききる、野崎六助のライフワーク。

作家＝探偵＝ヒーローの遍歴に帝国の彷徨を透視するその視線は、二十世紀極東の運命をも照らし出した。

アメリカニズムの底に降り立ち、百年の夢を救出する比類なき大著。

作者介绍:

野崎六助 [ノザキロクスケ]

1947年、東京に生まれる。小説家、批評家として幅広く活躍している。『北米探偵小説論』（青豹書房、1991年）で1992年度日本推理作家協会賞受賞。

目录: プロローグ パサージュとしての探偵小説論

序章 鯨の腹の中に

第1章 文芸復興・1913年

第2章 戦争は国家の健康法である

第3章 世界一周

第4章 時と砦について

第5章 合州国における戦争

第6章 悲劇の社会学

第7章 わが愛しき妻よわが鳩よ

第8章 エレクトリック・レディランドを見たか

第9章 アメリカの闇の奥で

エピローグ 湾岸から遠く離れて

..... [\(收起\)](#)

[北米探偵小説論_ダウンロード1](#)

标签

推理评论

野崎六助

美国

研究

日文

推理

小说

评论

日本推理作家協會獲獎作品.這個野崎君學歷並不高（最終學歷只有高中畢業）完全是自學成才的類型.他在這本書中除了對美國作家作品瞭如指掌之外，還對美國的歷史、政治、經濟、文化、法制等如數家珍.（同樣的拿一個約翰·麥克唐納比較，森英俊的書更側重作品介紹，而野崎更側重偵探本身的人物分析，而且更為詳盡，比同樣是日本冷硬第一評論家的小鷹信光還系統）關鍵是他最近又集中幾十年功力寫了一本「北美探偵小說論21」而從目錄上來看，這本新奇書已經跳出北美範疇，對世界範圍內的有些很偏的國家推理文學發展都有涉及.

[北米探偵小說論 下载链接1](#)

书评

[北米探偵小說論 下载链接1](#)